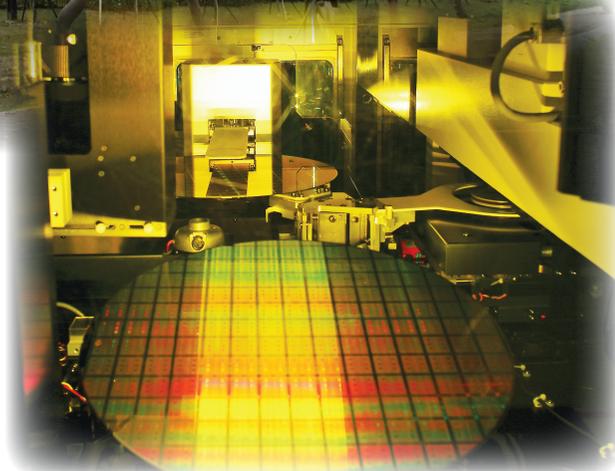


## さらなる産業集積を目指して



■ 台南園區にある台積電 14 廠 Fab P3 棟の 12 インチウエハ工場



### 半導体産業による投資急増 台積電と聯電が南科に布石

2012 年ウエハ界の両雄、台積電と聯電が相次いで台南園區への追加投資を決め、新世代のウエハ工場が建設されることになりました。投資額は 7400 億元以上に達する予定で、台湾南部に 9000 人以上の雇用を創出することが見込まれています。また、川上、川下の周辺産業による投資が進むことで南科がウエハの委託製造の分野で世界で最も重要な生産拠点に成長することが期待されています。

### 光電産業に新たなトレンド 産業集積を加速

台南園區では奇美（群創と改名）と瀚宇が形成した平面ディスプレイ関連の川上、川下メーカーの集積が光電産業の発展を牽引しています。また、スマートフォンやノートパソコンの需要拡大によりタッチパネル生産も急成長を続けています。南科ではすでに和鑫光電と奇美がタッチパネル生産を行っているほか、園区に集積した TFT-LCD 企業がタッチパネル生産のスピード成長を支えています。

## 台湾最高水準のバイオ医療器材産業センターを目指して

2012 年は医療器材とワクチン製造を中心に 11 社のバイオ関連企業が南科に進出しました（有効認可ベースの累計で 56 社）。生産ラインの拡張も相次いでおり、例えば台湾神隆公司是注射液製造工場の増設に 11 億円を投資しました。

また「南部生技医療器材産業集落発展計画」に基づき、2009 年から 2012 年までの期間に計 101 件の案件に対して合計で 11.7 億円の補助金が支給されたほか、金属センター、成功大学、工業研究院など 13 の学術研究機関が南科に研究開発センターを設置しました。2012 年末までの累計で本計画によって南科に進出した企業は有効認可ベースで 38 社、投資額は 52.9 億円以上になります。「医療器材計画」企業はこれまでに 7 社が GMP 認証、6 社が TFDA 認証、1 社が US FDA 認証、1 社が中国 SFDA 認証、1 社が TAF 実験室認証を取得しており、南科は国内最高水準のバイオ医療器材産業センターへと成長しつつあります。

## 「医材牛墟開市」が大成功

2 月 24 日、「生技医材牛墟（牛市場）開市」と銘打って人材・技術・資金マッチング会を行いました。会場には「南部生技医療器材産業集落発展計画」の実施にあたった関係機関が集まって過去 3 年余りの成果を披露し

たほか、人材バンクや就業支援サービスデスクの協力も得て入居企業の就職セミナーなども大々的に開催。医療器材産業の無限の可能性と活力が溢れていました。

## 日本語専任スタッフが常駐 日系企業の集積が進む

南科管理局では 2012 年から日系企業のための単一窓口サービスをスタート。日本語専任スタッフが日系企業による投資、工場建設を全面的にサポートしています。南科では 2012 年までに日系企業 17 社を誘致、投資額は認可ベースで 164.75 億円に達するなど、日系企業の集積が進んでいます。

## グリーンエネルギー産業が安定した輝き

南科では太陽エネルギー、LED、リチウム電池及び電動車産業などグリーンエネルギー産業の誘致を積極的に推進しており、2012 年末の時点で太陽エネルギー関連企業が 11 社、LED が 6 社、電動車が 2 社進出しています。また、太陽エネルギー測定検証能力を強化するため、核エネルギー研究所の集光型太陽能発電高試験証発展センターを誘致。技術協力を行うとともに検査・測定基準を策定し、国際基準に沿った検査認証制度を確立しています。高雄園区には電信技術センターの緑色通信用実験室も設置され、スピーディーな品質安全基準認定による国内メーカーの競争力アップに貢献しています。



■「医材牛墟開市」－全国人材・資金・技術マッチング会（2012.02.24）